

最上クロスロード

国道13号 泉田道路通信

第2号 平成30年10月 発行

◆最上クロスロードについて◆

新庄市は、道路（国道13号、国道47号）及び鉄道（奥羽本線、陸羽東線、陸羽西線）が交差することから「東北の十字路」と呼ばれ、交通の要衝となり栄えてきたことに由来して「最上クロスロード」と題しました。事業進捗や工事状況等を随時お知らせして参ります。

<ご意見・お問い合わせ先> 国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所 新庄建設専門官室
〒996-0041 新庄市大字鳥越字舟田608-2（新庄国道維持出張所内）
TEL：0233（22）1731、FAX：0233（22）1731 <http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syucho/shiniji/index.html>

9月20日（木）に（株）新庄砕石工業所さんの協力のもと、泉田・新庄古口・高屋道路安全協議会が、新庄神室産業高校2年生の校外研修の一環で泉田道路にて、ICT建機による施工技術の現場見学会を行いました。

プロジェクターを使い、概要説明



（株）新庄砕石工業所の現場代理人さんによる説明。中川原地区道路改良工事・杉形谷地区道路改良工事にてICTを活用した工事を行っています。

ICTパワーショベルの機能

- ①自動整地アシスト（アーム操作時にバケットが設計面に沿って動くように自動でフォームが上昇）
- ②自動停止制御（フォームまたはバケットを操作時にバケット刃先が設計面に達すると作業機が自動停止）
- ③最短距離制御（設計面にもっとも近い点を自動検出して刃先を制御）

オペレーターは、掘り過ぎを気にせず簡単に掘削作業が可能！作業効率・安全性を向上



ICTパワーショベル



UAV（ドローン）



GNSSローバー



盛土する前とした後にドローンで空中撮影を行い、設計とおりの盛土が出来ているか、GPS（GNSSローバー）で位置・高さを確認します。

ICT施工（情報化施工）とは・・・

建設工事現場において情報通信技術や、3次元設計データ・GNSSやセンサー等といった電子機器・電子情報を活用することによって工事の生産性の向上や品質の確保等を目的としたシステムのことを指します。

